

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

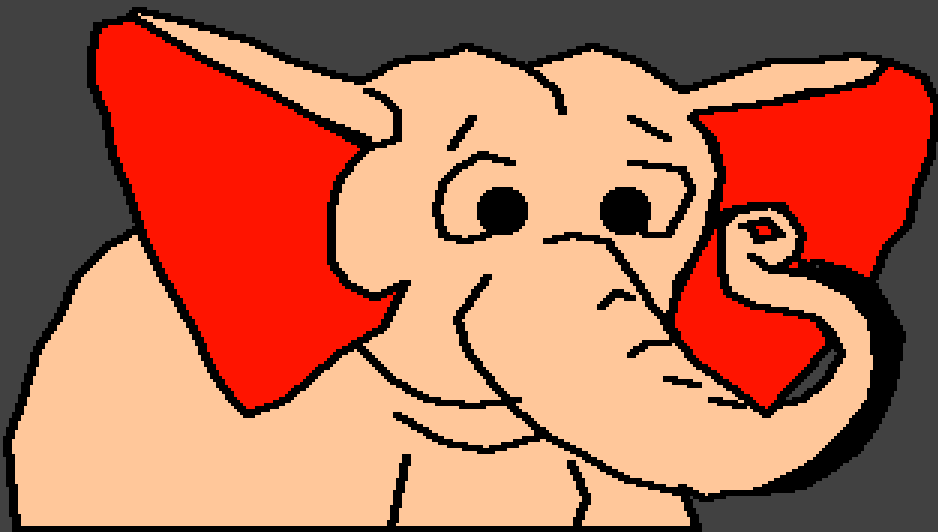
案内いたします

かみ

## 神さまが、すべてのもの

とき

## をつくられた時のこと



<sup>ぶん</sup>  
文: E. Duncan Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Byron Unger; Lazarus

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: Bob Davies; Tammy S.

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

<sup>しゅつばんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> 許可: <sup>たにん</sup> 他人に <sup>う</sup> 売らない <sup>かぎ</sup> 限り <sup>はなし</sup> このお話の <sup>また</sup> コピー、又はプリントは、  
<sup>きよか</sup> 許可されています。

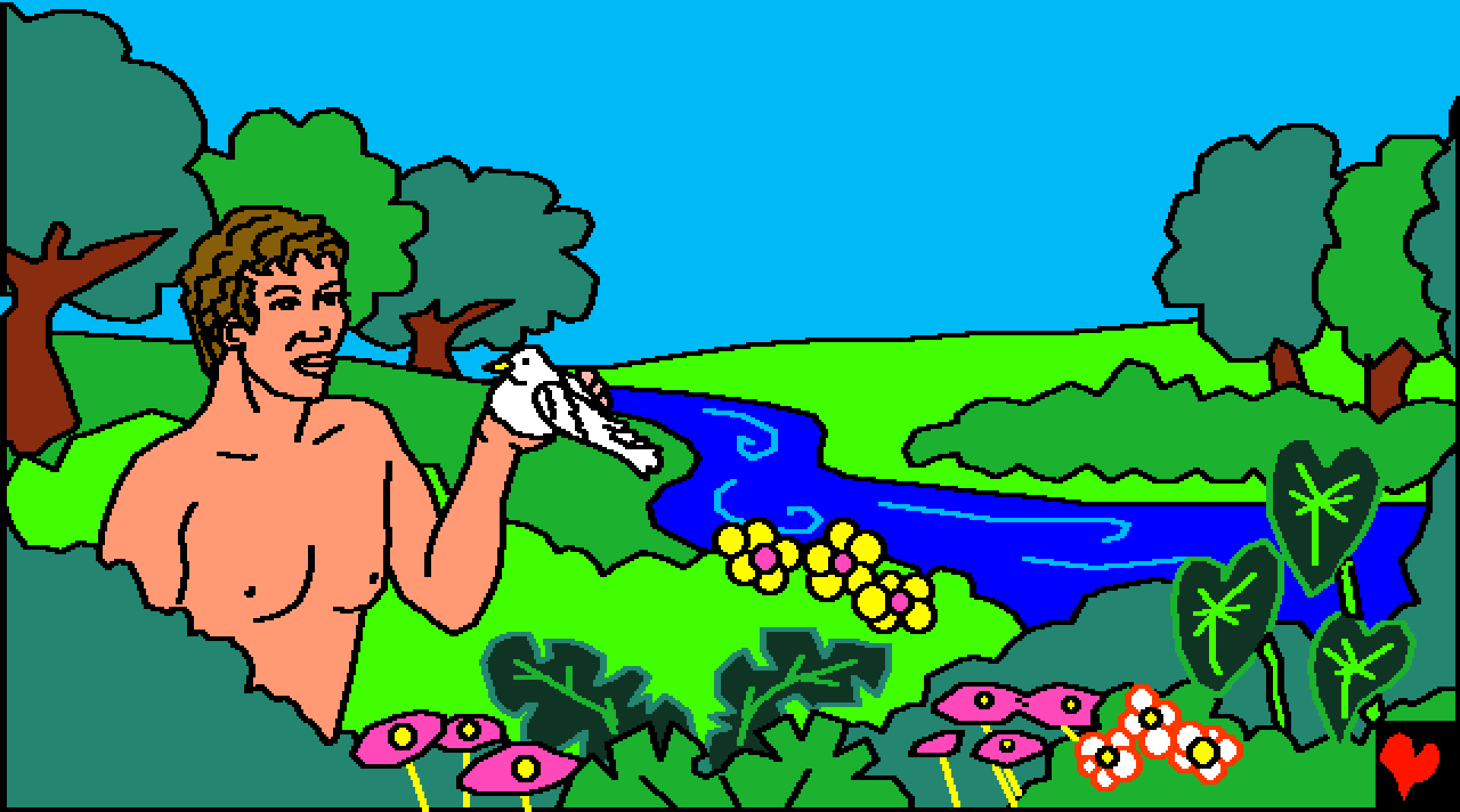


わたし せいしよ かみ  
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、  
じんるい はじ おし  
私たち人類が どのようにして 始まったかを教えてくれています。ずっとずっ  
むかし かみ はじ なまえ  
と昔のことです。神さまは、いちばん初めの人をつくり、アダムと名前をつけら  
かみ ち ちり  
れました。神さまは、アダムを地の塵からつくられたのです。



いき ふ いのち あた い

それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生かしてくださいました。アダムは、自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に置かれていることに気がつきました。



かみ

まえ

かみ

神さまが、アダムをつくられる前のことです。神さまは、すばらしいものでいっ

み

うつく

せかい

かみ

すこ

ぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのでした。神さまは、少しずつ

すこ

こだか

おか

ひろ そうげん

つ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、

かお

はな

たか

き

ぎ

はね

ことり

と

まわ

香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつ

げんき

およ

ばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるへびさんたち。

ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、

かみ

神さまがつくられたのですよ。



いちばん初めの時、そうです。神  
さまが、まだ何にもつくられてい  
なかった時のこと。神さまが い  
らっしゃる他は、ほんとうに何も  
なかったんです。光もなければ、  
水もない。上もなければ、下もな  
い。昨日もなければ、今日もな  
い。ただ、まだ何も始められてな  
い神さまだけが、いらっしやいま  
した。それからなのです。

神さまがつくりはじめられたの  
は。



はじ かみ てん ち  
初め 神さまは、天と地を つくられました。



ち かたち なに  
その地は形もなく、何もありません

まっくら やみ  
でした。ただ、真っ暗な闇が、

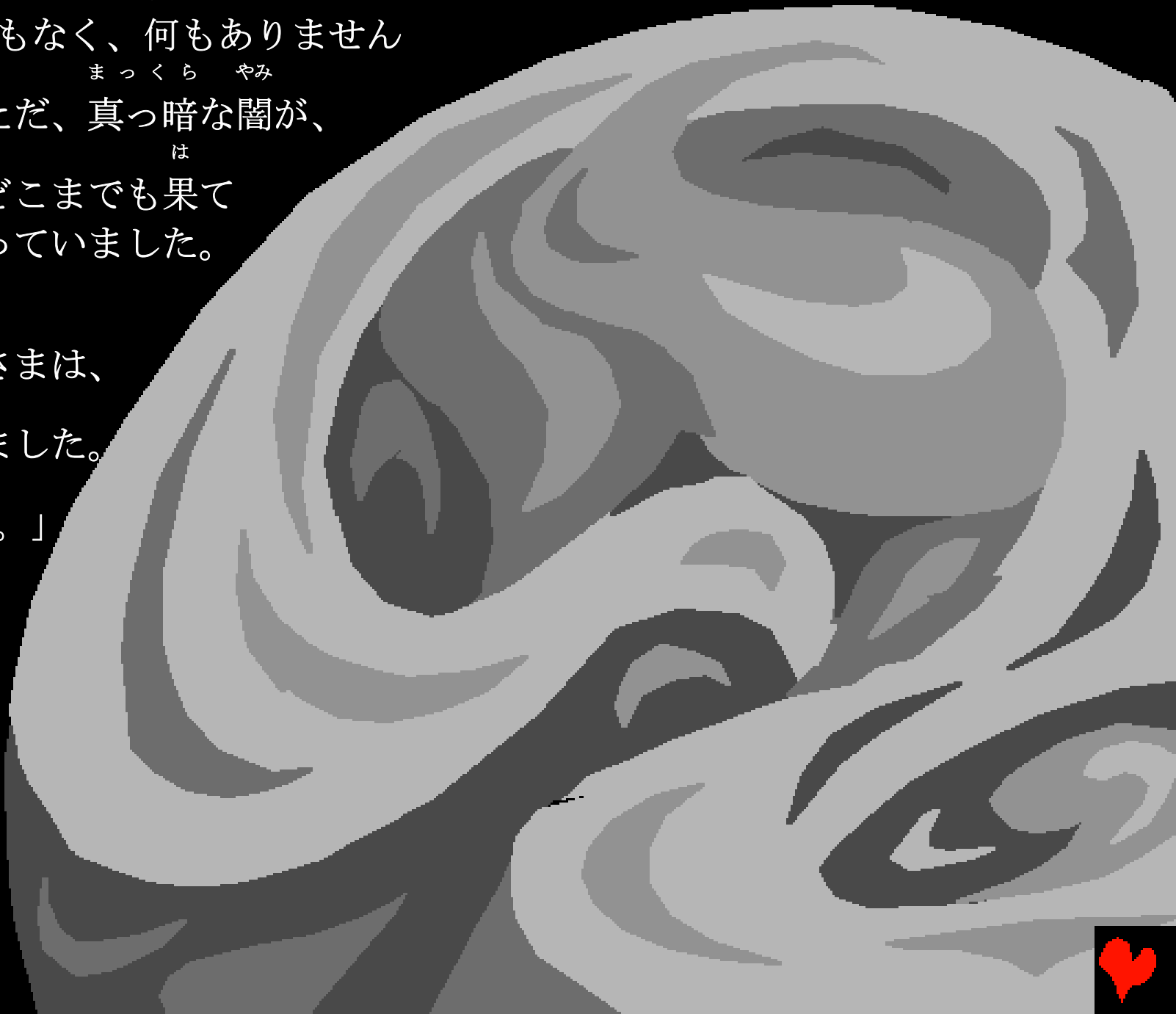
は  
どこまでもどこまでも果て  
しなくおおっていました。

かみ  
そこで 神さまは、

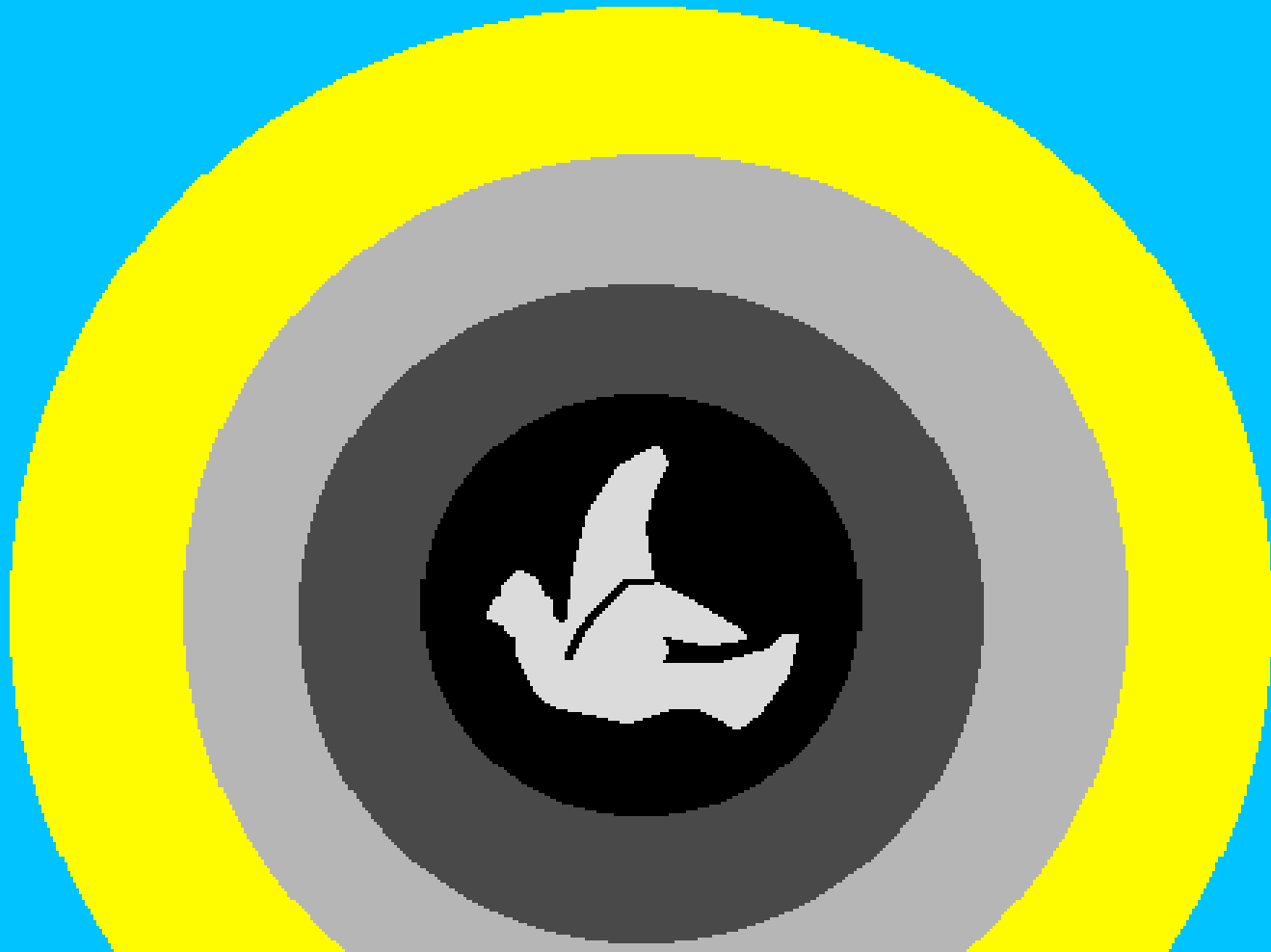
くち ひら  
口を開かれました。

ひかり  
「光、あれ。」

と。



ひかり で かみ ひかり ひる やみ よる な  
すると、なんとまあ 光が出てきたのです。 神さまは、光を昼、闇を夜と名  
づけられました。こうして夕となり 朝がやってきました。第一日目です。  
ゆう あさ だい1にちめ



ふっかめ かみ みず はこ

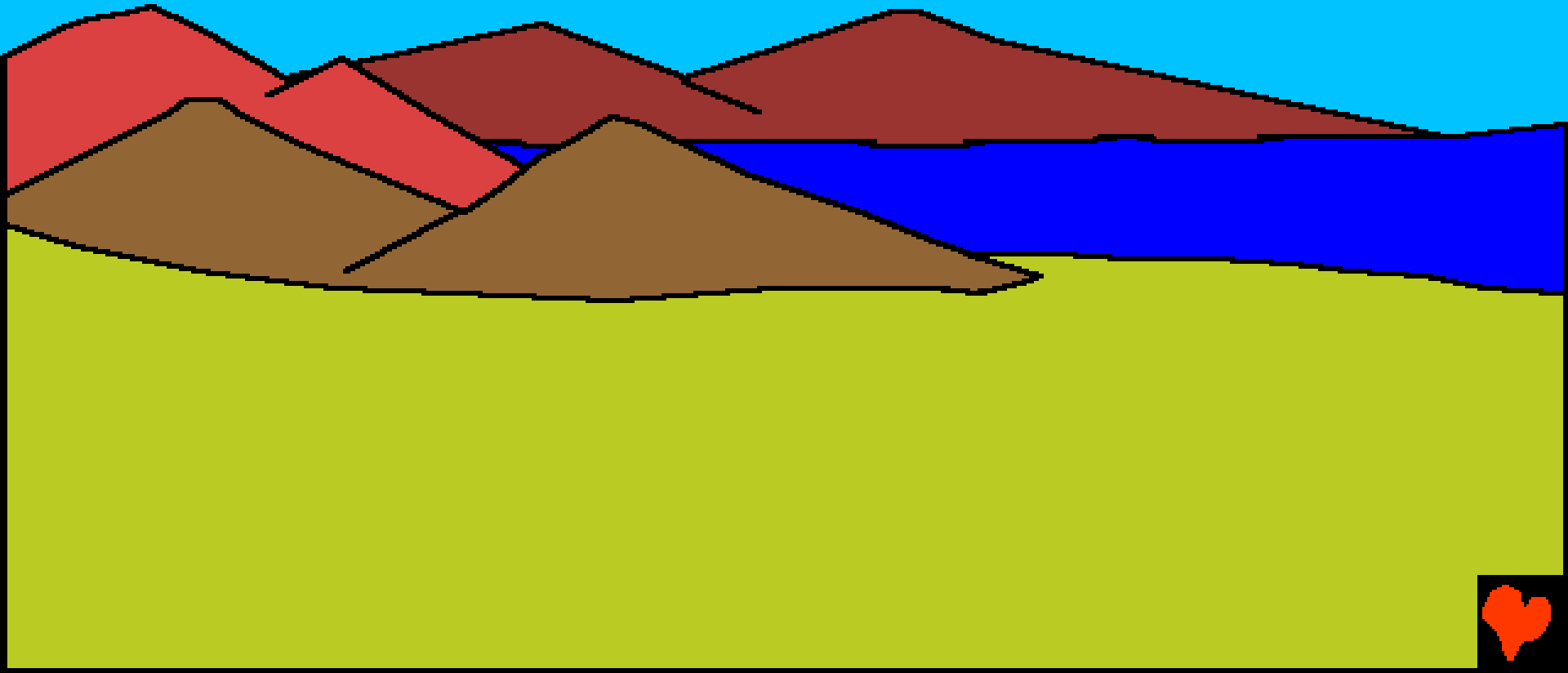
おおぞら

たいよう

二日目、神さまは水を運んでこられました。それを大空のもとで きちんと太洋  
うみ みずうみ わ そそ みっかめ かみ

や海や 湖 に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。「さ  
かわ とち あらわ

あ、乾いた土地が 現れるように。」と。そして そのようになりました。



かみ

めいれい

くさ はな

ひく き たか き

あらわ

また、神さまは命令されました。「草や花、そして低い木や高い木が 現れるように。」と。すると、そのようになりました。

ゆう

あさ

こうして夕となり朝がやってきました。

みっかめ

三日目です。





かみ つぎ かんが うみ い  
神さまが次に考えられていたことは、海の生  
もの さかな とり

き物や魚や鳥たちをつくることでした。  
いっかめ おお

五日目、大きなメカジキや ちっちゃい  
あし なが

イワシのなかまたち、脚の長いダチ  
しあわ

ヨウさんやいつも 幸せそうにさえず  
っているかわいいハチドリたちも  
さかな

つくられました。たくさんの魚たちが  
みず およ

水のなかでスイスイと泳ぎまわり、  
とり たの ち うみ

またいろいろな鳥たちが 楽しそうに地や海や  
そら と

空を飛びまわることができるようにと、  
かみ なかま

神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつくれ  
ゆう

たのですよ。こうして夕となり、  
あさ

朝がやってきました。五日目です。



そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、みんな生き物  
は どんどんこの地において。わたしがつくろう。さあ、どんどんおいで。」こ  
うして いろいろな種類の動物や昆虫、はちゅう類もやってきました。ドシ  
ン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、いつも忙しそうなビーバーさんもいま  
す。いたずら好きのサルさんや のそのそワニさんも。くねくねミミズさんと  
ちょっと気取ったリスさんも。ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロの  
音を鳴らすネコちゃんも。ほんとうに 神さまは、その日にあらゆる種類の生き  
物をつくられたのでした。こうして夕となり 朝がやってきました。これが  
六日目です。



むいかめ

かみ

なに ほか

さて、六日目のことです。 神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、

なに とくべつ

いま

ひと

じゅんぴ

何か特別のこと……。今はもう、人をつくるための準備が、すっかりできあ

の

たもの

かれ つか

どうぶつ

がっていました。野には、食べ物が、そして彼に仕える動物たちもいました。

かみ

い

そこで、神さまは、言われました。「さあ、

わたし

に ひと

私たちによく似た人をつくろう。そして

ち

かれ したが

地のものすべてを 彼に従わせよう。」

かみ

かみ

じしん

に

ひと

神さまは、神ご自身に似せて人をつく

かみ

られたのです。神さまそっくりにつ

くられたのでした。



かみ はな  
神さまは アダムに話されまし  
た。「アダム、おまえは庭にあ  
るものは、何でも食べていいん  
だよ。でも、善と悪を教えてく  
れる知識の木からだけは、食べ  
てはいけない。もし おまえが  
その木のものを食べると、必  
ず死んでしまうんだよ。」



しゅ かみ い

ひと ひとり

そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人でいるのは、よくない。さび

わたし かれ なかま

かみ

しいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、アダムのところ

ことり

どうぶつ

よ

小鳥たちや動物たちを呼びました。アダムは、かれらみんな

なまえ

に、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことが

かしこ

できるなんて、アダムはきっと賢かったのでしょう

とり

どうぶつ

なか

ね。けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、アダム

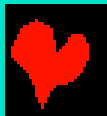
なかま

にぴったりの仲間はみつきりません。





かみ ふか  
そこで 神さまはアダムを深い  
ふか ねむ なか い  
深い眠りの中につれて行かれま  
ねむ  
した。そして ぐっすり眠って  
ぼね  
いるアダムから、あばら骨を  
いっぽん ほね おんな  
一本とって その骨から女の  
ひと かみ  
人をつくられたのです。神さま  
おんな ひと  
がつくられたその女の方は、  
なかま ほんとう  
アダムの仲間として 本当に  
ひと  
ぴったりの人でした。



かみ

むいかかん

かみ

神さまは、六日間ですべてのものを つくられました。それから神さ

なぬかめ しゅくふく

ひ やす び

まは七日目を祝 福なさって、その日を休みの日とされました。エデ

その

つま

かみ

したが

ンの園では、アダムと彼の妻のエバは 神さまに従いながら、

しあわ

く

かみ

ふたり

しゅ

ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、二人にとって主であ

やしな

ちち

ともだち

り、養ってくださる父であり、そして友達でもあったのです



かみ とき  
神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたの罪つみのために、十字架じゅうじかじょう上で亡なくなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今いま、あなたの所ところへ来きて、あなたのこころなかの中に住すんでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょいに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらっしゃいます。どうか、私のこころなかの中きに來つみて、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命いのちをいただけます。そして、いつか、あなたの所ところへ行き、いつまでもあなたといっしょいに  
こ い  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

